

平成24年度の各事業の一部をご紹介します

「まち」と「みなと」が連携したまちづくりへ 待望のグランドオープン

市では、稚内駅周辺地区をかつての賑わいのある中心市街地とすることを目的に、交通・情報・交流・賑わいの拠点として、整備を進めてきました。

稚内駅前再開発ビル（キタカラ）や稚内駅前広場等の整備が平成23年度末に全て完成し、いよいよ4月29日（日）にグランドオープンします。



「北防波堤ドーム公園」「波止場プロムナード」が完成します
平成24年度の夏頃供用開始予定の、北防波堤ドーム周辺に整備されている「北防波堤ドーム公園」と、まちとみなとを結ぶ「波止場プロムナード」が完成します。

稚内駅前再開発ビル（キタカラ）には、現在、T・ジョイ稚内（映画館）とバスターミナルがすでにオープンしています。グループホームと高齢者専用賃貸住宅、飲食・物販店や地域交流センターが新たにオープンします。
さらに、このグランドオープンに合わせて、JRの最北端、最南端の鉄道の始発・終着駅が、「縁」で結ばれている、本市と枕崎市との友好都市提携の調印式も予定しています。



新しい稚内の顔となる「駅前再開発ビル kitacolor（キタカラ）」



屋外ステージは、風によって飛んできた「葉っぱ」をイメージしています

「北防波堤ドーム公園」には、大勢の集客ができるイベント広場や市民の憩いの場となる交流広場、屋外ステージを設けています。
この屋外ステージでは、様々なイベントが開催できるようにになっています。「波止場プロムナード」は、

旧瀬戸邸を活用した「まちづくり」

市民の皆さんの中で、市内に残る歴史的建造物を大切にしようとする機運が高まってきています。

市では、その歴史的建造物を大切に残し、市民や観光に訪れる方にとって過ごしやすい、歴史を感じられるまちづくりを進めています。

今年度、その一環として旧瀬戸邸の修復工事を8月より行ってきました。

また、旧瀬戸邸を市内で第1号となる国の登録有形文化財への申請の準備を進めています。

屋根や庭、塀などの整備

稚内駅から「温水プール水夢館」裏の親水護岸までの歩ける遊歩道です。

「北防波堤ドーム公園」・

「波止場プロムナード」の供用開始は、夏頃を予定しています。

平成24年度の8月下旬には、「南中ソーラー全国交流祭」や昨年の宗谷港・てっぺん公園で開催しました「食マルシェ」などのイベントを「北防波堤ドーム公園」で開催予定です。

なお、各事業の詳細は、決まり次第お知らせします。

に加えて、トイレの改修、展示スペースの設置、裏玄関のバリアフリー化などを行っています。

施設内には、沖合底曳き網業に関する資料や、昭和の暮らしを感じられる展示

を行い、市民をはじめ稚内を訪れる方々に、街歩きの際点として活用してもらいたいと考えています。

なお、この施設のオープンは4月29日を予定しています。



レンガ造りの煙突が特徴の旧瀬戸邸(正面)



駐車場も整備されます

ツインタワーが宝来に完成

平成24年8月に宝来地区に10階建ての市営住宅の2棟目が完成します。

平成17年に建てられたA棟と並ぶB棟は、新しいまちのシンボル「ツインタワー」になります。

今回、建てられたB棟は、「快適さ」・「優しさ」・「長持ち」・「安全性」などを備えた市内で初めてのユニバーサルデザイン仕様の住宅です。



住宅タイプは、2DK20戸と2LDK20戸の計40戸があります。